

天草市立栖本病院 が担う役割について

令和5年2月 天草市立栖本病院

1 現状と課題（1 / 8）

◎天草市立病院の理念、基本方針

基本理念	私たちは、市民が必要とする医療を提供し、市民に信頼される病院及び診療所を目指します。
基本方針	<p><病院事業の継続> 天草市は、市民の健康な生活を支援する施策として、病院事業を継続し、市民の健康と福祉の増進に努めます。</p>
	<p><地域医療の確保> 市立病院は、今後も連携して天草市域を対象とした地域医療の確保に努めます。</p>
	<p><経営改革の推進> 市立病院は、「安定した経営基盤の確立」、「安全・安心の医療提供」を目指した経営改革を進めます。</p>
	<p><災害対策医療体制等の整備> 市立病院は、災害対策医療に力を入れ、災害拠点病院等と連携し自然災害、新興感染症に対応できる病院として体制を整備します。</p>

1 現状と課題 (2 / 8)

【自施設の現状と課題】

◎担うべき役割や機能の明確化

当院を含む天草市立4病院は、今後さらに深刻化する人口減少、少子高齢化の中で、持続可能な医療提供体制を確保するため、担うべき役割の明確化、病床数や病病床機能等の見直しの案をまとめ、令和元年12月に開催された「第8回天草地域医療構想調整会議」において報告を行い、合意を得ることが出来ました。

その、合意していただいた案を基に「第4期天草市立病院改革プラン」を令和3年3月末に策定し、病床数、病床機能を見直したほか、診療体制の見直しを進めているところです。

また、令和4年4月に総務省が「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を策定し、これを基に公立病院は「経営強化プラン」を策定することになっていますので、本市では「第4期天草市立病院改革プラン」の基礎的な部分はそのままに、必要事項の追記、計画期間、収支計画等の見直しを行った『天草市立病院経営強化プラン』を現在作成中で、令和5年3月末の完成を予定しています。

1 現状と課題 (3 / 8)

役割の明確化	結核病床を維持し、栖本・倉岳地域唯一の病院として回復期医療を行う。												
病床機能及び診療体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病を中心とした生活習慣病等に対する専門医療をさらに推進する。 ・ これまで当地域になかった整形外科診療を令和3年4月から開始し、併せて令和4年11月からはリハビリを開始し、診療体制の充実を図る。 												
病床数の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結核病床はこれまでの実績と、今後の新興感染症対応を見込んで令和3年3月末に20床とした。今後も県と協議を行いながら病床数の見直しを行っていく。 ・ 一般病床（24床）は人口減少による患者数減も見込まれるところであるが、このエリアに代替する病院がないこと及び、結核病床のためにも一般診療体制の維持が必要なことから、現在の病床数を保持する。 <table border="1" data-bbox="326 999 1854 1270"> <thead> <tr> <th>病床機能</th> <th>見直し前</th> <th>見直し後（令和3年3月末）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回復期</td> <td>24床</td> <td>24床</td> </tr> <tr> <td>結核</td> <td>46床</td> <td>20床</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>70床</td> <td>44床</td> </tr> </tbody> </table>	病床機能	見直し前	見直し後（令和3年3月末）	回復期	24床	24床	結核	46床	20床	計	70床	44床
病床機能	見直し前	見直し後（令和3年3月末）											
回復期	24床	24床											
結核	46床	20床											
計	70床	44床											

1 現状と課題（4／8）

◎自施設の診療体制

【届出入院基本料】

	病床数	基本料
一般病棟	24床	一般病棟入院基本料 13対1（地域一般入院料 1）
結核病棟	20床	結核病棟 13対1入院基本料

【診療科】

内科、糖尿病内科、呼吸器内科、整形外科、リハビリテーション科

【自施設及び診療圏の特徴】

- ・ 当院の主な医療圏は栖本・倉岳地域となっており、地域内唯一の病院です。
- ・ 地域の初期医療、回復期医療、在宅医療、「熊本県結核対策プラン」での結核治療機関、救急告示病院、糖尿病専門外来を担う病院として地域医療の拠点となっています。
- ・ 栖本・倉岳地域は高齢化率が高く、交通公共機関も少ないことから、地域内で引き続き医療提供体制の確保が必要と考えます。

1 現状と課題（5／8）

【政策医療について】

- ・ 糖尿病分野において専門医療を提供する役割を担う。
- ・ 救急告示病院として、地域住民と地域医療に貢献する。
- ・ 在宅医療に関しては、当地域の医院と連携して後方支援病院としての役割を担い、また必要に応じて訪問診療に取り組む。また地域の老人福祉施設・介護保険施設の協力医療機関として医療・福祉介護連携を進めている。
- ・ 近隣の医療機関と連携して急性期疾患の入院治療の提供や、糖尿病など専門疾患の病診連携を実施している。
- ・ 当院で対応困難な疾病などについては、天草地域医療センターをはじめとする高次医療機関と連携し対応している。
- ・ 地域内の福祉・介護保険施設の協力病院として、配置医師の派遣等で連携を図っている。
- ・ 行政等、他の機関との連携を行い地域住民の健康増進に努めている。

1 現状と課題（6／8）

◎自施設の診療実績

【入院の状況】

		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
病床数 (床)	一般	24	24	24	24	24
	結核	46	46	46	46	20
	合計	70	70	70	70	46
患者数 (人)	一般	6,119	6,221	6,011	4,978	4,865
	結核	1,335	660	1,625	774	0
	合計	7,454	6,881	7,636	5,752	4,865
病床 利用率 (%)	一般	69.9	71.0	68.4	56.8	55.5
	結核	8.0	3.9	9.7	4.6	0.0
	合計	29.2	26.9	29.8	22.5	30.3
1日当りの平均患者数		20	19	21	16	13
在院日数（一般のみ）		19.0	24.3	24.5	25.9	22.5

注：結核病棟は令和2年8月下旬より、新型コロナウイルス感染症患者受入れ専用病棟としたため、以降、結核患者の受入れ無。

注：令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症対応のため、患者数は減少している。

1 現状と課題（7 / 8）

【外来の状況】

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
患者数	16,231	16,463	15,620	13,813	15,939
1日当りの平均患者数	55	56	54	47	54

注：令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症対応のため、患者数は減少している。

◎自施設の職員数（R4.4.1現在）

部門	職種	人数	部門	職種	人数
医局	医師	2	栄養管理係	管理栄養士	1
薬局	薬剤師	1		調理員	7
	事務補助	1		医療連携室	社会福祉士
看護課	看護師	22	看護師		0
	看護補助	3	事務部門		医療事務（委託）
	看護事務補助	0		医師事務作業補助	0
X線係	臨床放射線技師	1		事務職	4
検査係	臨床検査技師	1		労務職	0
リハビリ部門	理学療法士	1	合計		48
	作業療法士	0			

1 現状と課題（8／8）

受託業務等

	他機関の内容	健診名等	対象者
福祉施設健診受託業務	<ul style="list-style-type: none"> ・養護老人ホーム梅寿荘 ・特別養護老人ホーム梅寿荘 ・特別養護老人ホーム愛愛園 ・上記各施設職員 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断 入居者健康診断(4月・10月) インフルエンザ予防接種 特定業務従事者健康診断 職員腰痛健康診断(9月・3月) ・随時健康診断 入居者健診 雇用時健康診断 腰痛検査 検便 	<p>全入居者 全入居者・全職員 夜勤者・宿直者 直接処遇職員</p> <p>新規入居者 新規採用職員 新規採用直接処遇職員 新規採用調理職員 新規採用訪問介護員</p>
協力病院業務	<ul style="list-style-type: none"> ・養護老人ホーム梅寿荘 ・特別養護老人ホーム梅寿荘 ・特別養護老人ホーム愛愛園 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容 入居者の診療に関して協力医療機関として協力 	全入居者
配置医師派遣業務	<ul style="list-style-type: none"> ・養護老人ホーム梅寿荘 ・特別養護老人ホーム梅寿荘 ・特別養護老人ホーム愛愛園 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容 週1回 2時間常駐 入居者の健康管理、指導相談及び診療 	全入居者
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・天草市、学校、保育園等 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容 和貴保育園児健康診断 2/年実施 天草市立栖本小学校校医 天草市受託各種予防接種 天草市職員健診 結核に係る健康診断及び精密検査業務 	<p>保育園児 小学生 市民 天草市職員等</p>

2 今後の方針（1/2）

【地域において今後担うべき役割】

◎地域医療で担うべき役割

4 ページに記載したとおり、令和3年3月末に“役割の明確化”“病床機能及び診療体制の見直し”“病床数の見直し”を掲げ、地域に必要な医療を提供することで、持続可能な医療提供体制を確保していく方針です。

◎新興感染症で担うべき役割

2020年から現在（2022年）まで流行が続いている新型コロナウイルス感染症の対応では、外来では診療・検査医療機関、検査センターとして発熱患者等の対応に当たり、延べ2,320件（R5.1月末現在）の検査を実施し、ワクチン接種業務では延べ9,036人（R5.2月現在）へ接種を行いました。また、入院では重点医療機関として最大で14床を確保し、延べ1,419人＜実人数175人＞（R5.1月末現在）の患者受け入れを行っています。

今後も新たな新興感染症が発生した場合は、新型コロナウイルス感染症対策で整備した施設、機器等を活用し同感染症対応と同等の対応を行っていきます。

その他にも今回の経験等を活かした感染対策マニュアル、診療継続計画等の関連計画の更新、策定、感染防護具等の備蓄等を行っていきます。

2 今後の方針（2／2）

【地域において今後担うべき役割】

◎必要な医師の確保

- ・ 必要医師数は、非常勤医師により確保は出来ている状況ではあるが、可能な限り常勤医師での確保を図っていきます。
- ・ 地域に整形外科診療がなかったため、令和3年度より毎月第1、第2、第4週の土曜日に熊本大学から整形外科医を派遣いただいています。

◎必要な医療従事者の確保

- ・ 新型コロナウイルス感染症患者の受入れ前に、他院の感染管理に詳しい看護師に指導を受けた経緯もあることから、市立病院内で“感染管理認定看護師”の育成も予定しています。
- ・ 令和4年度より理学療法士を採用し、リハビリを開始しています。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方】

単位：床

病床機能	2017年(平成29年)	2023年(平成35年)	2025年(平成37年)
高度急性期			
急性期			
回復期	24	24	24
慢性期			
その他	結核：46	結核：20	結核：20
合計	70	44	44

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【②診療科の見直し】

	現時点 (2023年3月時点)	2025年	理由・方策
維持	内科、糖尿病内科、呼吸器内科、整形外科、リハビリテーション科	内科、糖尿病内科、呼吸器内科、整形外科、リハビリテーション科	現状の診療科を維持
新設			
廃止			
変更・統合			

3 具体的な計画

(2) 数値目標

	現時点(令和元年度時点)	2025年
①病床稼働率 (一般病床のみ)	68.4%	79.2%
②紹介率	8.6%	11.0%
③逆紹介率	7.5%	66.6%

注：現時点の数値は、令和2、3年度が新型コロナウイルス感染症患者受け入れの影響で比較対象とならないため、令和元年度の数値とする。

3 具体的な計画

(3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題 (1 / 2)

【取組みと課題】

◎数値目標達成に向けた取組や課題

<病床稼働率>

一般病床は人口減少による患者数減も見込まれるところであるが、このエリアに代替する病院がないこと及び、結核病床のためにも一般診療体制の維持が必要なことから、現在の病床数を保持することにしていきます。

しかしながら、今後も低稼働率が続く場合は、再度の病床数見直しが必要になるとみていきます。

<紹介率・逆紹介率>

地域医療のかかりつけ病院としての立場もあるため、紹介率は低くなっています。また、逆紹介率については他院への検査依頼等も多くなっているため高くなっています。

今後も近隣の医療機関等と連携を図り、適切な医療の提供に取り組んでいきます。

3 具体的な計画

(3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題 (2 / 2)

【取組みと課題】

◎医師の働き方改革への取組

現在、常勤医師の時間外労働の状況は、2024年4月から開始される「医師の時間外労働規制」のA水準（月100時間、年間960時間）に該当しています。

時間外労働がA水準であるのは、宿日直を大学からの派遣医師に頼っていることが一つの要因となっていますが、今後時間外労働時間の上限が設けられることとなると、大学側から派遣を断られる可能性もあります。病院側としては、派遣を継続してもらうためにも労働基準法に基づく「断続的宿日直勤務許可」を得れるように努めてまいります。